授業科目 セクシュアリティと看護学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
塚本 康子		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 セクシュアリティを護り支える看護を考究していくために、セクシュアリティの概念や性をめぐる最新の動向と問題を理解する。また、女性のライフサイクル各期における看護を実践するための基礎的知識を修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. セクシュアリティ、リプロダクティブヘルスの概念を述べることができる。 2. セクシュアリティの動向と現況を説明できる。 3. 母性看護の基礎的理論として、発達と危機、母子関係、セルフケア、健康教育を説明できる。 4. 女性のライフサイクルにおける健康問題を指摘できる。 5. 健康問題に対する看護目標を設定する。 6. 看護目標を達成する時に活用する社会資源を調べる。 7. セクシュアリティに関わる倫理的課題を指摘できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス/ライツの概念と母性看護の特性			1	講義
2	出産をめぐる歴史の変遷と動向			2	講義
3	母性看護の基礎的理論－1			3	講義
4	母性看護の基礎的理論－2			3	講義
5	母性看護の基礎的理論－3			3	講義
6	女性のライフサイクルにおける健康問題と看護目標			456	グループワーク
7	セクシュアリティに関わる倫理的課題			247	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座専門24 母性看護学概論	石井邦子他編	医学書院	2008
参考書		国民衛生の動向	厚生統計協会		
その他の資料					
【評価方法】 出席10点 試験90点			【履修上の留意点】 自分自身のセクシュアリティについても考えてみよう。		